

## 平成 24 年度事業報告書

当財団は、新公益法人制度に対応するため、継続的に充実した事業に取り組めるよう、会計問題や様々な諸条件についての検討を重ね公益財団法人への認定申請を行い、平成 25 年 3 月 19 日に公益法人としての認定を受けた。

また、事業の見直しや振興事業の充実を図りながら、地場産業振興の拠点施設としての役割、機能を十分に果たすべく、国・県及び関係市町村、並びに関係諸団体との連携に努め、以下の事業を実施した。

24 年度は、高岡市内の小・中学校の児童、生徒の「ものづくり・デザイン科」の実習及び見学に 1,921 名がセンターを訪れたほか、一般の方による体験学習などにも 287 名が参加した。

新規事業としては、産学官連携で、高岡地域の伝統工芸を JR 九州の車両・SONIC883 系車両（7 編成：博多～大分）内に展示することにより、地域・観光客の方々にご紹介する「高岡地域伝統工芸情報発信事業」を実施し、販路開拓に取り組んだ。

また、事業活動収支については、事業収入では参加料等収入が 2,203 千円（対前年△242 千円）で 9.9%の減少となったものの、施設使用料収入は 19,249 千円（対前年 1,600 千円）で 9.1%の増加となった。

また、販売事業収入においても、展示即売売上では 37,942 千円（対前年 4,015 千円、11.8%増）となり、仕入額が 27,493 千円（対前年 3,253 千円、13.4%増）であったことから、販売手数料は 10,449 千円（対前年 762 千円）で 7.9%の増加となった。また、D.front 手数料は 447 千円（対前年△354 千円減）であった。

平成 24 年度における事業活動収入計は 146,748 千円、事業活動支出計が 132,640 千円で収支差額は 14,108 千円となった。また、投資活動においては、投資活動支出計は 7,213 千円で収支差額は△7,213 千円となった。投資活動支出の主なものは、次年度にむけた事業等の積立、建物等修繕の積立及び 3 階組合事務所の空調機増設工事費などの特定資産取得支出であった。さらに、財務活動においては、財務活動支出計が 5,701 千円で収支差額は△5,701 千円となった。財務活動支出の内容は従前の長期借入金の返済であった。以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は 1,194 千円となり、前期繰越収支差額 2,024 千円を加えた次期繰越収支差額は 3,218 千円となった。

## 1. 一般振興事業

### (1) 需要開拓事業の推進

#### ① 各種見本市での新商品展示・紹介(ギフト・ショーへの出展)

第75回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2013へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めた。また、前段階として、5産地組合及び参画企業を対象とした研修機会を設け、マーケティングやブランディング、広報効果についてなど、複合的な知識を有する4名の専門家を起用し、計8回のセミナーと付随した個別企業への相談会を実施した。

- ・日 時 平成25年2月6日(水)～8日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明3丁目21番地1号)
- ・出展数 27社、約200点
- ・来場者数 全体で19.6万人(会期中のお問い合わせ件数：455件)

#### ② 全国の地場産業振興センターが開催するイベントへの出展等

全国各地の地場産業振興センターが主催する地場産フェアに出展し、当地域の地場産品のPRに努めた。

##### ア「じばさんフェア2012」(委託販売)

- ・日 時 平成24年10月27日(土)～28日(日)
- ・主 催 (一財)備後地域地場産業振興センター
- ・場 所 ローズアリーナ及び屋外プロムナード

##### イ「全国うまいもの市」(委託販売)

- ・日 時 平成24年11月10日(土)～11日(日)
- ・主催、場所 (財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター

##### ウ「全国地場産フェア in 八戸」

- ・日 時 平成24年12月1日(土)～2日(日)
- ・主 催 (財)八戸地域地場産業振興センター
- ・場 所 ユートリー1回大ホール・屋外

##### エ「大じばさん展」(委託販売)

- ・日 時 平成24年12月7日(金)～9日(日)
- ・主 催 (財)燕三条地場産業振興センター
- ・場 所 燕三条地場産センター1階多目的大ホール

オ「第13回地域伝統芸能まつり」

- ・日 時 平成25年2月23日(土)～24日(日)
- ・主 催 地域伝統芸能まつり実行委員会、(財)地域創造
- ・場 所 NHK ホール

③ 「D.f r o n t」の運営

御旅屋通において伝統的工芸品を中心とした地場製品の企画展示を行い、地域内外へ魅力的な情報提供に努めた。

④ 外部展示場での地場製品の展示・紹介

高岡商工会議所2階ロビーにおいて技術・技法を駆使したブロンズ像等や漆器作品を展示紹介して来館者への伝統的工芸品に対する理解を深め、PRに努めた。

## (2) 人材育成事業の実施

県内の伝統的工芸品に対する理解を深め、後継者育成・確保に寄与するとともに、伝統産業を普及、振興することを目的とし、幅広い年代を対象に次の事業を行った。

① 「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に次のとおり支援・協力を行った。

平成24年5月31日を初回に、年間22日間にわたって延べ19校(32クラス、1,023名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学5年生16校(28クラス、920名)、小学6年生3校(4クラス、103名)

錫の鋳込みを実習

イ 産業資料館の見学

小学5年生10校(22クラス、736名)、小学6年生4校(6クラス、162名)

② 教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日(6時間)の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数22名。漆器体験講座受講者数38名。

- ・漆器体験講座 平成24年7月30日(月)、8月6日(月) 午前9時～12時
- ・鋳物体験講座 平成24年7月30日(月)、8月6日(月) 午後1時半～4時半

### ③ ものづくり体験教室の実施

鋳物体験教室は、ミニ水盤の製作体験、漆器体験教室では、アクセサリー、ミニパネル、盃の加飾体験を行った。

- ・鋳物体験 13 団体 207 人の参加
- ・漆器体験 7 団体 80 人の参加

### ④ 伝統工芸とやまブランド力向上支援事業

バイヤーやプロダクトプランナーなどを講師として招き、消費者目線でのものづくりや販促アプローチ等を学ぶことができるセミナーを開催した。さらに、セミナーと併せて個別相談会を実施することにより、各事業所が自社の商品や技術の魅力や課題を再整理し、自社の強みや利点を活かしたブランド力を向上させることができるよう支援を行った。

- ・期 間 平成 24 年 6 月 ～ 平成 25 年 3 月
- ・セミナー開催数 計 10 回

## (3) 伝統工芸産地再生事業の推進

専任の職員による伝統工芸産業振興の推進に努めた。

## (4) 情報収集提供事業

### ① ホームページ等を利用した情報提供の充実

平成 25 年 4 月の公益法人化にむけ、高岡地域地場産業センターホームページのリニューアルを行った。

### ② 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として公益法人制度改革及び地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。また、公益法人改革や、公益法人認定についての研修会に参加した。

総会

- ・日 時 平成 24 年 7 月 19 日(木)～20 日(金)
- ・場所、主催 (財)八戸地域地場産業振興センター

## (5) 伝統産業団体支援事業

### ① 高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援した。

ア 文化財修理工事事業

- ・高岡御車山通町車輪修繕工事 他 17 件
- イ 祭屋台等製作修理技術者会への推薦及び研修会への参加

## ② 富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する後継者育成事業や工芸士展の開催に対して支援した。

第 16 回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・日 時 平成 24 年 8 月 3 日(金)～5 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階大ホール
- ・主 催 富山県伝統工芸士会

## ③ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

ア 銅器に親しむつどい

- ・日 時 平成 24 年 7 月 29 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階鋳物工房
- ・内 容 「錫製キーホルダー」の製作

イ 漆器に親しむつどい

- ・日 時 平成 24 年 7 月 28 日(土)～7 月 29 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター
- ・内 容 青貝塗り加飾の体験 写真立て

ウ 越中和紙の体験教室

- ・日 時 平成 24 年 11 月 10 日(土)、20 日(火)、27 日(火)、12 月 2 日(日)  
平成 25 年 2 月 8 日(金)、9 日(木)
- ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

エ 庄川挽物木地の体験教室

- ・日 時 平成 24 年 12 月 7 日(金)
- ・場 所 砺波市立砺波南部小学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

オ 井波彫刻の体験教室

- ・日 時 平成 24 年 11 月 15 日(木)、22 日(木)、29 日(木)

- ・場 所 木彫りの里 創遊館
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、彫刻の制作体験

④ 伝統工芸高岡漆器協同組合

「第42回高岡漆器展示会」副賞を供与し、新商品開発への意欲創出を図った。

- ・日 時 平成24年7月28日(土)～29日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2階
- ・主 催 伝統工芸高岡漆器協同組合

⑤ 高岡の伝統的工芸品展

平成24年度ものづくりのまち高岡が誇る 伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成24年9月8日(土)～13日(木)
- ・場 所 富山県アンテナショップ いきいき富山館「情報館」
- ・主 催 高岡巧美会（高岡市伝統工芸産業技術保持者）
- ・共 催 高岡市

⑥ 日本漆器協同組合連合会

「第47回全国漆品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成24年9月18日(火)～9月24日(月)
- ・場 所 福井県ビジネス支援センター ふくい南青山 291 2階多目的ホール
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会、(財)生活用品振興センター、越前漆器協同組合

⑦ 工芸都市高岡2012クラフトコンペ実行委員会

工芸都市高岡2012クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 平成24年10月4日(木)～8日(月・祝日)
- ・場 所 (株)大和高岡店 6階催事場
- ・主 催 工芸都市高岡2012クラフトコンペ実行委員会

⑧ 高岡伝統産業青年会

第18回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成24年6月30日(土)～7月1日(日)
- ・場 所 ポートメッセなごや3号館（クリエイターズマーケット）
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

## (6)文化財等修理産業創出支援事業

高岡地域文化財等修理協会を中心とした伝統工芸技術者の育成・確保及び技術の向上・継承に努めた。また、修理工事の受注拡大に向けて、文化財等の修理・メンテナンス産業の市場の開拓に努めた。

### ① ホームページの更新

高岡地域文化財等修理協会のホームページを更新し、新たな受注の確保に努めた。

### ② 出前講座の実施

県外の祭礼行事及び保存状況について確認すると共に、修理協会のPR活動に努めた。

ア 愛知県豊田市、名古屋市及び静岡県浜松市

- ・日 時 平成 25 年 2 月 21 日(木)～22 日(金)
- ・場 所 21 日 (木) 1 班 豊田市役所東庁舎 4 階 (豊田市西町 3-60)  
2 班 有松山車会館 (名古屋市緑区有松 2338)  
22 日 (金) 浜松まつり会館 (浜松市南区中田島町 1313)
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会 10 名、事務局 2 名
- ・対応者 豊田市議会議員、挙母祭り保存会、有松まつり保存会、浜松まつり保存会、浜松まつり会館副館長

### ③ 修理現場への視察

修理協会会員の育成及び技術の向上・継承等を図ることが必要なことから、県外より専門技術者を講師として招聘し、技術講習会を開催した。

- ・日 程 平成 24 年 12 月 12 日～平成 25 年 2 月 7 日 (全 6 回)
- ・場 所: 第 1 回、第 2 回、第 5 回、第 6 回 高岡地域地場産業センター  
第 3 回 玉屋庄兵衛工房 (愛知県名古屋市北区)  
第 4 回 犬山市文化史料館・からくり展示館 (愛知県犬山市)
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会会員 14 名

## (7)文化財等修理機能充実事業

実際の文化財修理を通して、高岡地域の伝統的工芸技術の職人技を継承するため、技の記録画像や作業工程・計測等を実施した。

## (8)産・学・官連携事業

高岡の漆工職人、大学で漆工を学ぶ学生及び行政、業界等が連携し、漆木育成実験圃場において漆木の育成をすることによりものづくりへの意識の向上を図った。また、広く当

地域の産業・産品の情報発信に努めた。

#### ① 漆木育成

- |    |   |                                  |                |
|----|---|----------------------------------|----------------|
| ・日 | 時 | 第1回草刈り、肥料                        | 平成24年5月27日(日)  |
|    |   | 第2回草刈り                           | 平成24年7月22日(日)  |
|    |   | 第3回草刈り                           | 平成24年9月23日(日)  |
|    |   | 第4回植樹・雪囲い                        | 平成24年11月11日(日) |
| ・場 | 所 | 第1、第2、第3 漆木実験圃場(高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近) |                |

#### ② 情報発信事業

平成26年の北陸新幹線開業を見据え、広く当地域の産業・産品の情報発信を行っていくことが必要である。その一環として、JR九州の人気車両であるSONIC883系車両(博多～大分間)において、富山大学芸術文化学部、高岡市と連携し、車両内の展示ブースに高岡地域の伝統的工芸品の紹介展示を実施した。

### (9) 産業資料館運営事業

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

### (10) 施設管理運営事業

#### 施設の管理

当財団の建物及び機械設備等については年々老朽化が進んでいるが、随時修繕を実施して、当財団機能の保守と施設管理に万全を期した。

- ・ 3階組合事務所空調機増設工事
- ・ 搬入専用エレベータ部品取替工事 3月
- ・ 外灯防食工事 3月 他

### (11) 公益法人制度改革への対応

平成二十年度の公益法人制度改革三法の施行に伴い、新公益法人制度に対応するため、継続的に充実した事業に取り組めるよう、会計問題や様々な諸条件についての検討を重ね公益財団法人への認定申請を行った。

## 2. 収益事業

### (1) 地場産品の展示紹介・販売促進

消費者ニーズや商品販売動向の把握に努め、季節毎の商品の入替えや新商品を展示するなど販売促進に努めた。また、歳暮・新春・贈答品・年度替わり期の記念品等に対応できるよう、複数の地場産品を組み合わせたセット商品の企画販売を行った。



また、情報発信として、地場産センター本館や御旅屋店 D.front の情報、県内の伝統的工芸品を中心とした地場産業情報を紹介する小冊子「タカオカ、ものづくり散歩。」を発行した(特別号も含め、年間5回発行)。

観光バスの立寄り台数は93台で、昨年(111台)より16.2%減少した。来館者数は、87,700人で、昨年(82,710人)より6.0%増加した。販売手数料は10,449千円で、昨年の9,687千円より762千円7.9%増加した。

## (2) 貸し施設の利用促進

施設使用料は、8,733千円となり、昨年(7,285千円)より19.9%増加した。稼働率(各施設毎に、1日1回以上の利用を1と数え、開館日数(340日)で除した率)は、38.1%と、昨年(32.6%)より5.5%増加した。